

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2006年8月25日設定）	
運用方針	<p>マザーファンド受益証券への投資を通じて、外国の債券に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。アッパーミドル諸国の政府等または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざします。当ファンドにおいて「アッパーミドル諸国」とは、先進国と新興国の中間領域に位置する国として委託会社が判断した国とします。アッパーミドル諸国の中から、信用等级がA～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。投資対象とする債券は、当該国通貨建ての国債、政府保証債、政府機関債、地方債および国際機関債とします。ポートフォリオの流動性等を補完するため米国国債に投資することとし、信託財産の10～20％程度を基本資産配分とします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
主要運用対象	ベビードファンド	グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、当ファンドで直接投資することがあります。
	マザーファンド	外国の債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビードファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）」およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

グローバル・ボンド・ ニューマーケット （毎月決算型）

愛称：星こよみ



第130期（決算日：2017年8月24日）
 第131期（決算日：2017年9月25日）
 第132期（決算日：2017年10月24日）
 第133期（決算日：2017年11月24日）
 第134期（決算日：2017年12月25日）
 第135期（決算日：2018年1月24日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）」は、去る1月24日に第135期の決算を行いましたので、法令に基づいて第130期～第135期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 分 配	込 金 騰 落	期 中 騰 落 中 率			
	円	円	円	%	%	%	百万円
106期(2015年8月24日)	5,325		30	△8.4	97.3	—	12,499
107期(2015年9月24日)	4,979		30	△5.9	95.9	—	11,534
108期(2015年10月26日)	5,155		30	4.1	97.4	—	11,720
109期(2015年11月24日)	5,121		30	△0.1	97.5	—	11,463
110期(2015年12月24日)	4,761		30	△6.4	95.5	—	10,435
111期(2016年1月25日)	4,489		30	△5.1	96.5	—	9,723
112期(2016年2月24日)	4,398		30	△1.4	97.0	—	9,438
113期(2016年3月24日)	4,487		30	2.7	96.7	—	9,515
114期(2016年4月25日)	4,602		30	3.2	96.8	—	9,611
115期(2016年5月24日)	4,211		30	△7.8	96.5	—	8,726
116期(2016年6月24日)	3,978		30	△4.8	96.8	—	8,124
117期(2016年7月25日)	4,299		30	8.8	97.3	—	8,700
118期(2016年8月24日)	4,133		20	△3.4	97.0	—	8,247
119期(2016年9月26日)	4,036		20	△1.9	97.2	—	7,927
120期(2016年10月24日)	4,161		20	3.6	96.9	—	8,005
121期(2016年11月24日)	4,096		20	△1.1	97.0	—	7,718
122期(2016年12月26日)	4,278		20	4.9	93.6	—	7,890
123期(2017年1月24日)	4,167		20	△2.1	96.2	—	7,558
124期(2017年2月24日)	4,355		20	5.0	96.0	—	7,700
125期(2017年3月24日)	4,429		20	2.2	96.4	—	7,665
126期(2017年4月24日)	4,317		20	△2.1	95.9	—	7,341
127期(2017年5月24日)	4,416		20	2.8	96.0	—	7,406
128期(2017年6月26日)	4,508		20	2.5	96.5	—	7,452
129期(2017年7月24日)	4,494		20	0.1	95.9	—	7,382
130期(2017年8月24日)	4,407		20	△1.5	95.6	—	7,172
131期(2017年9月25日)	4,569		20	4.1	95.2	—	7,315
132期(2017年10月24日)	4,378		20	△3.7	96.1	—	6,894
133期(2017年11月24日)	4,307		20	△1.2	96.2	—	6,691
134期(2017年12月25日)	4,452		20	3.8	94.4	—	6,810
135期(2018年1月24日)	4,578		20	3.3	95.8	—	6,950

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、アッパーミドル諸国の政府等または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざすことを目標としておりますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
		騰 落 率	率			
第130期	(期 首) 2017年 7月24日	円 4,494	% —	% 95.9	% —	% —
	7月末	4,452	△0.9	95.6	—	—
	(期 末) 2017年 8月24日	4,427	△1.5	95.6	—	—
第131期	(期 首) 2017年 8月24日	4,407	—	95.6	—	—
	8月末	4,469	1.4	94.5	—	—
	(期 末) 2017年 9月25日	4,589	4.1	95.2	—	—
第132期	(期 首) 2017年 9月25日	4,569	—	95.2	—	—
	9月末	4,483	△1.9	95.3	—	—
	(期 末) 2017年10月24日	4,398	△3.7	96.1	—	—
第133期	(期 首) 2017年10月24日	4,378	—	96.1	—	—
	10月末	4,299	△1.8	94.6	—	—
	(期 末) 2017年11月24日	4,327	△1.2	96.2	—	—
第134期	(期 首) 2017年11月24日	4,307	—	96.2	—	—
	11月末	4,370	1.5	96.3	—	—
	(期 末) 2017年12月25日	4,472	3.8	94.4	—	—
第135期	(期 首) 2017年12月25日	4,452	—	94.4	—	—
	12月末	4,499	1.1	95.7	—	—
	(期 末) 2018年 1月24日	4,598	3.3	95.8	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について（第130期～第135期：2017/7/25～2018/1/24）

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ4.6%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



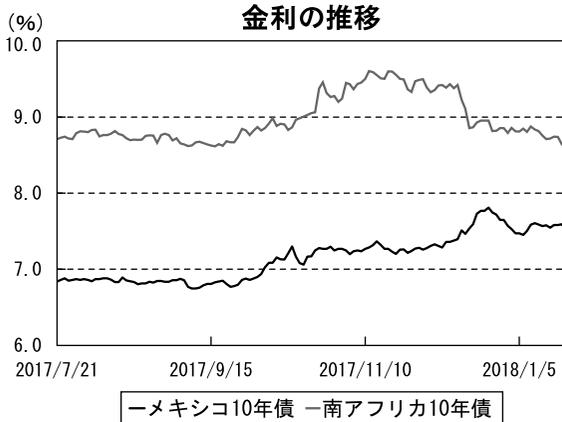
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

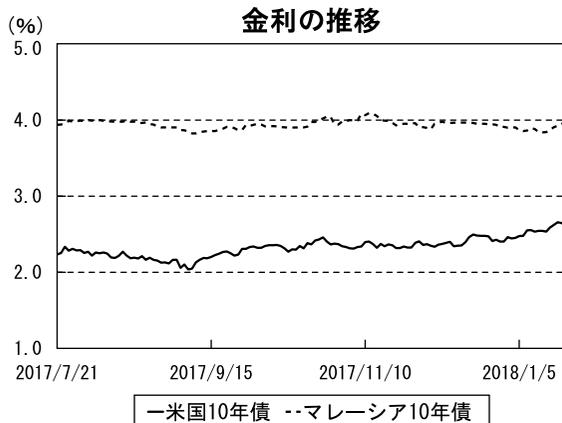
上昇要因	南アフリカランド、マレーシアリングットが対円で上昇したことや、南アフリカの金利が低下したこと、債券の利子収益を享受したことなどが、上昇要因となりました。
下落要因	メキシコペソが対円で下落したこと、米国、メキシコなどの金利が上昇したことなどが、下落要因となりました。

投資環境について

（第130期～第135期：2017/7/25～2018/1/24）



（注）現地日付ベースで記載しております。



（注）現地日付ベースで記載しております。

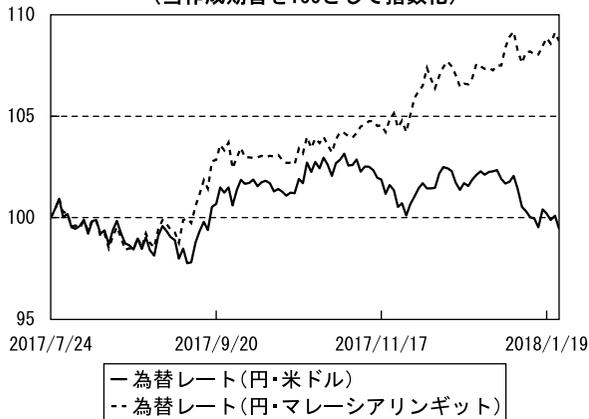
◎債券市況

- ・米国、メキシコの長期金利は上昇した一方、マレーシアの長期金利はほぼ横ばい、南アフリカの長期金利は低下しました。
- ・2017年9月中旬にかけて、投資国の長期金利は概ね横ばいで推移しましたが、9月下旬に開催された米連邦公開市場委員会（FOMC）にて2017年内の利上げ見通しが維持されたことなどから、投資国の長期金利は上昇に転じました。
- ・その後、米国では、2018年以降もFOMCが金融正常化を進めていく観測が優勢となり、また12月には、税制改正が成立し、景気拡大期待が高まったことなどから、長期金利は上昇基調で推移し、作成期首との対比では、長期金利は上昇して終わりました。メキシコでは、12月に、メキシコ中央銀行が政策金利を0.25%引き上げ、またインフレリスクの高まりに対して懸念を示し、2018年も追加利上げを行う可能性が高まったことなども長期金利の上昇要因となり、作成期首との対比では、長期金利は上昇して終わりました。また、マレーシアでは、11月以降、堅調な経済成長等を背景に、投資家のリスクセンチメントが改善したことなどから、長期金利は低下に転じたものの、作成期首との対比では、長期金利はほぼ横ばいで終わりました。一方、南アフリカでは、10月以降、政局の不透明感や財政収支見通しの悪化などから、長期金利は上昇幅を拡大しました。しかし、12月に開催された与党アフリカ民族会議（ANC）党大会で、ラマポーザ副大統領が党首に選出され、経済改革や財政収支改善に対する期待が高まったことなどから、長期金利は低下に転じ、作成期首との対比では、長期金利は低下して終わりました。

為替市況の推移
(当作成期首を100として指数化)



為替市況の推移
(当作成期首を100として指数化)



◎為替市況

- ・米ドル、メキシコペソは対円で下落した一方、南アフリカランド、マレーシアリングギットは対円で上昇しました。
- ・2017年9月中旬にかけて、投資国通貨は概ね横ばいで推移しましたが、9月下旬以降、米国追加利上げ観測が高まる中、米ドル、マレーシアリングギットは本邦との金利差拡大等を背景に、対円で上昇した一方、南アフリカランド、メキシコペソなどの一部新興国通貨は対円で下落しました。
- ・その後、米ドルは、12月にかけて、概ね横ばいで推移しましたが、2018年1月に、日銀が国債買入れオペ金額を減額したことで先行きの政策変更への思惑が高まったことなどが対円での下落要因となり、作成期首との対比では、対円で下落して終わりました。
- ・メキシコペソは、2017年12月に与党・制度的革命党（PRI）の有力者が公金の不正横領容疑で逮捕され、政治的な不透明感が高まったことなどから、対円での下落幅を拡大し、作成期首との対比では、対円で下落して終わりました。
- ・一方、南アフリカランドは、12月に開催されたANC党大会の結果を受け、対円で大幅に上昇し、作成期首との対比では、対円で上昇して終わりました。また、マレーシアリングギットは、11月に、マレーシア中央銀行が政策金利を据え置いたものの、現在の金融緩和の度合いを見直す可能性があるとして表明し、利上げ観測が高まったことなどから、上昇基調で推移し、作成期首との対比では、対円で上昇して終わりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

＜グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）＞

- ・グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド受益証券への投資を通じて、アッパーミドル諸国の公社債を中心に投資をしました。

＜グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド＞

基準価額は当作成期首に比べ5.3%の上昇となりました。

- ・アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定し、通貨別資産配分は均等を基本に組み入れました。
- ・投資国は、作成期を通じて、米国・南アフリカ・メキシコ・マレーシアの4カ国で運用しました。
- ・メキシコペソが対円で下落したことや、米国、メキシコなどの金利が上昇したことなどはマイナスに影響したものの、南アフリカランド、マレーシアリングギットが対円で上昇したことや、南アフリカの金利が低下したこと、債券の利子収益を享受したことなどがプラスに寄与したことから、基準価額は上昇しました。

（ご参考）

利回り・デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

作成期首（2017年7月24日）

最終利回り	6.0%
直接利回り	6.2%
デュレーション	5.9年



作成期末（2018年1月24日）

最終利回り	6.2%
直接利回り	6.1%
デュレーション	6.1年

- ・数値は債券現物部分で計算しております。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。

（ご参考）

債券の格付分布

作成期首（2017年7月24日）

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	8.1%	4
AA格	0.0%	0
A格	59.3%	12
BBB格	28.7%	5
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0

作成期末（2018年1月24日）

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	7.9%	5
AA格	0.0%	0
A格	58.7%	13
BBB格	29.5%	5
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0



- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・格付の振分基準は、以下の通りです。
 - ・AAA格（AAA、Aaa）
 - ・AA格（AA+、AA、AA-、Aa1、Aa2、Aa3）
 - ・A格（A+、A、A-、A1、A2、A3）
 - ・BBB格（BBB+、BBB、BBB-、Baa1、Baa2、Baa3）
 - ・BB格（BB+、BB、BB-、Ba1、Ba2、Ba3）
- ・原則として、個別銘柄格付を採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、弊社の分類基準に基づいて、ソブリン格付（国の発行体格付）を採用しているものがあります。
- ・格付分布はS&P社、Moody's社のうち最も高い格付を表示しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは、アッパーミドル諸国の政府等または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざすことを目標としておりますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第130期	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期
	2017年7月25日～ 2017年8月24日	2017年8月25日～ 2017年9月25日	2017年9月26日～ 2017年10月24日	2017年10月25日～ 2017年11月24日	2017年11月25日～ 2017年12月25日	2017年12月26日～ 2018年1月24日
当期分配金 (対基準価額比率)	20 0.452%	20 0.436%	20 0.455%	20 0.462%	20 0.447%	20 0.435%
当期の収益	18	20	17	18	20	20
当期の収益以外	1	—	2	1	—	—
翌期繰越分配対象額	150	154	151	149	152	154

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）>

◎今後の運用方針

- ・グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

<グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・アッパーミドル諸国においては、中間所得層の増加や堅調な労働市場を背景とした個人消費の堅調な伸びを背景に、概ね底堅い経済成長を維持するものと考えています。
- ・米国では金融政策正常化に向けた動きが想定されるものの、主要先進国の金利は低位で推移しており、先進諸国との比較で相対的に金利水準の高いアッパーミドル諸国への金利差を狙った資金流入が、今後も見込めると考えます。
- ・ただし、他の新興国通貨と同様に、中国の景気減速懸念や地政学リスクの高まりなどの外部要因の影響を受け、投資家のリスク回避姿勢の強まりなどから不安定な動きに転じる可能性がある点については留意が必要です。

◎今後の運用方針

- ・アッパーミドル諸国の政府または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざします。
- ・アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。
- ・アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年7月25日～2018年1月24日)

項 目	第130期～第135期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(13)	(0.299)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(12)	(0.272)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.015	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.013)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	27	0.612	
作成期中の平均基準価額は、4,428円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2017年7月25日～2018年1月24日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第130期～第135期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド	千口 33,985	千円 40,370	千口 690,295	千円 821,509

○利害関係人との取引状況等

(2017年7月25日～2018年1月24日)

利害関係人との取引状況

<グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）>

該当事項はございません。

<グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド>

区 分	第130期～第135期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	199	122	61.3	934	233	24.9

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2018年1月24日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第129期末	第135期末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド	6,200,664	5,544,355	6,933,216

○投資信託財産の構成

(2018年1月24日現在)

項 目	第135期末	
	評 価 額	比 率
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド	千円 6,933,216	% 99.2
コール・ローン等、その他	55,310	0.8
投資信託財産総額	6,988,526	100.0

(注) グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（6,893,291千円）の投資信託財産総額（6,964,541千円）に対する比率は99.0%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=110.28円	1 メキシコペソ=5.90円	1 マレーシアリングgit=28.14円	1 南アフリカランド=9.17円
------------------	----------------	----------------------	------------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第130期末	第131期末	第132期末	第133期末	第134期末	第135期末
	2017年8月24日現在	2017年9月25日現在	2017年10月24日現在	2017年11月24日現在	2017年12月25日現在	2018年1月24日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	7,219,752,295	7,377,719,890	6,949,763,486	6,735,308,321	6,856,989,744	6,988,526,475
コール・ローン等	23,837,752	24,371,217	25,571,548	22,017,307	22,702,112	23,728,110
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド(附録)	7,155,248,975	7,298,419,456	6,878,422,460	6,675,831,987	6,794,489,370	6,933,216,197
未収入金	40,665,568	54,929,217	45,769,478	37,459,027	39,798,262	31,582,168
(B) 負債	46,988,924	61,856,971	54,861,079	43,485,185	46,123,431	38,438,243
未払収益分配金	32,551,977	32,026,684	31,497,324	31,072,905	30,594,622	30,365,863
未払解約金	7,076,602	22,256,618	16,661,297	5,573,560	8,658,359	1,296,969
未払信託報酬	7,332,319	7,544,834	6,676,936	6,812,680	6,844,294	6,749,611
未払利息	41	36	39	39	35	38
その他未払費用	27,985	28,799	25,483	26,001	26,121	25,762
(C) 純資産総額(A-B)	7,172,763,371	7,315,862,919	6,894,902,407	6,691,823,136	6,810,866,313	6,950,088,232
元本	16,275,988,509	16,013,342,344	15,748,662,018	15,536,452,846	15,297,311,256	15,182,931,763
次期繰越損益金	△ 9,103,225,138	△ 8,697,479,425	△ 8,853,759,611	△ 8,844,629,710	△ 8,486,444,943	△ 8,232,843,531
(D) 受益権総口数	16,275,988,509口	16,013,342,344口	15,748,662,018口	15,536,452,846口	15,297,311,256口	15,182,931,763口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,407円	4,569円	4,378円	4,307円	4,452円	4,578円

○損益の状況

項 目	第130期	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期
	2017年7月25日～ 2017年8月24日	2017年8月25日～ 2017年9月25日	2017年9月26日～ 2017年10月24日	2017年10月25日～ 2017年11月24日	2017年11月25日～ 2017年12月25日	2017年12月26日～ 2018年1月24日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 1,038	△ 1,283	△ 691	△ 933	△ 891	△ 801
受取利息	11	18	37	—	20	—
支払利息	△ 1,049	△ 1,301	△ 728	△ 933	△ 911	△ 801
(B) 有価証券売買損益	△ 101,840,464	298,450,703	△ 261,740,181	△ 72,257,161	259,510,895	227,260,556
売買益	1,206,625	300,644,830	3,225,376	1,235,210	262,543,336	228,287,051
売買損	△ 103,047,089	△ 2,194,127	△ 264,965,557	△ 73,492,371	△ 3,032,441	△ 1,026,495
(C) 信託報酬等	△ 7,360,304	△ 7,573,633	△ 6,702,419	△ 6,838,681	△ 6,870,415	△ 6,775,373
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 109,201,806	290,875,878	△ 268,443,291	△ 79,096,775	252,639,589	220,484,382
(E) 前期繰越損益金	△ 6,469,195,150	△ 6,498,775,625	△ 6,129,609,259	△ 6,336,948,857	△ 6,342,772,952	△ 6,069,384,892
(F) 追加信託差損益金	△ 2,492,276,205	△ 2,457,552,903	△ 2,424,209,737	△ 2,397,511,173	△ 2,365,716,958	△ 2,353,577,158
(配当等相当額)	(195,250,649)	(192,192,939)	(189,086,067)	(186,600,564)	(183,772,449)	(182,449,436)
(売買損益相当額)	(△ 2,687,526,854)	(△ 2,649,745,842)	(△ 2,613,295,804)	(△ 2,584,111,737)	(△ 2,549,489,407)	(△ 2,536,026,594)
(G) 計(D+E+F)	△ 9,070,673,161	△ 8,665,452,741	△ 8,822,262,287	△ 8,813,556,805	△ 8,455,850,321	△ 8,202,477,668
(H) 収益分配金	△ 32,551,977	△ 32,026,684	△ 31,497,324	△ 31,072,905	△ 30,594,622	△ 30,365,863
次期繰越損益金(G+H)	△ 9,103,225,138	△ 8,697,479,425	△ 8,853,759,611	△ 8,844,629,710	△ 8,486,444,943	△ 8,232,843,531
追加信託差損益金	△ 2,492,276,205	△ 2,457,552,903	△ 2,424,209,737	△ 2,397,511,173	△ 2,365,716,958	△ 2,353,577,158
(配当等相当額)	(195,303,295)	(192,199,880)	(189,102,276)	(186,608,014)	(183,777,968)	(182,457,215)
(売買損益相当額)	(△ 2,687,579,500)	(△ 2,649,752,783)	(△ 2,613,312,013)	(△ 2,584,119,187)	(△ 2,549,494,926)	(△ 2,536,034,373)
分配準備積立金	49,580,875	54,712,646	49,969,968	46,421,930	49,923,563	52,890,064
繰越損益金	△ 6,660,529,808	△ 6,294,639,168	△ 6,479,519,842	△ 6,493,540,467	△ 6,170,651,548	△ 5,932,156,437

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

① 作成期首（前作成期末）元本額 16,428,099,210円
 作成期中追加設定元本額 173,765,493円
 作成期中一部解約元本額 1,418,932,940円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.4578円です。

② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は8,232,843,531円です。

③ 分配金の計算過程

項 目	2017年7月25日～ 2017年8月24日	2017年8月25日～ 2017年9月25日	2017年9月26日～ 2017年10月24日	2017年10月25日～ 2017年11月24日	2017年11月25日～ 2017年12月25日	2017年12月26日～ 2018年1月24日
費用控除後の配当等収益額	30,510,640円	37,999,733円	27,721,923円	28,244,554円	34,847,584円	33,751,144円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	195,303,295円	192,199,880円	189,102,276円	186,608,014円	183,777,968円	182,457,215円
分配準備積立金額	51,622,212円	48,739,597円	53,745,369円	49,250,281円	45,670,601円	49,504,783円
当ファンドの分配対象収益額	277,436,147円	278,939,210円	270,569,568円	264,102,849円	264,296,153円	265,713,142円
1万口当たり収益分配対象額	170円	174円	171円	169円	172円	174円
1万口当たり分配金額	20円	20円	20円	20円	20円	20円
収益分配金金額	32,551,977円	32,026,684円	31,497,324円	31,072,905円	30,594,622円	30,365,863円

○分配金のお知らせ

	第130期	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期
1万口当たり分配金（税込み）	20円	20円	20円	20円	20円	20円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お知らせ】

①当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。

（変更前（旧）<http://www.am.mufg.jp/> → 変更後（新）<https://www.am.mufg.jp/>）

（2018年1月1日）

②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2018年1月24日現在）

<グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド>

下記は、グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド全体(5,544,355千口)の内容です。

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第135期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 4,700	千アメリカドル 4,942	千円 545,041	% 7.9	% —	% 2.9	% 1.6	% 3.4
メキシコ	千メキシコペソ 328,500	千メキシコペソ 328,119	1,935,905	27.9	—	17.7	8.5	1.7
マレーシア	千マレーシアリンギット 75,300	千マレーシアリンギット 75,805	2,133,177	30.8	—	13.1	7.0	10.6
南アフリカ	千南アフリカランド 275,000	千南アフリカランド 223,265	2,047,344	29.5	—	25.3	—	4.3
合 計	—	—	6,661,469	96.1	—	59.0	17.1	20.0

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘	柄	第135期末				
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
	国債証券	1.75 T-NOTE 220515	1,000	975	107,583	2022/5/15
		2.25 T-NOTE 270815	200	193	21,358	2027/8/15
		3 T-BOND 420515	500	512	56,466	2042/5/15
		3.125 T-NOTE 190515	2,100	2,131	235,079	2019/5/15
		4.5 T-BOND 360215	900	1,129	124,553	2036/2/15
小	計				545,041	
メキシコ			千メキシコペソ	千メキシコペソ		
	国債証券	5.75 MEXICAN BONO 260305	13,000	11,616	68,538	2026/3/5
		6.5 MEXICAN BONOS 220609	70,000	67,475	398,107	2022/6/9
		7.5 MEXICAN BONOS 270603	38,000	37,915	223,702	2027/6/3
		7.75 MEXICAN BONO 310529	16,000	16,139	95,220	2031/5/29
		7.75 MEXICAN BONO 421113	69,000	69,235	408,488	2042/11/13
		8 MEXICAN BONOS 200611	32,500	32,862	193,889	2020/6/11
		8 MEXICAN BONOS 231207	52,000	53,288	314,402	2023/12/7
		8.5 MEXICAN BONOS 181213	20,000	20,141	118,833	2018/12/13
		8.5 MEXICAN BONOS 381118	18,000	19,444	114,723	2038/11/18
小	計				1,935,905	
マレーシア			千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット		
	国債証券	3.654 MALAYSIAGOV 191031	26,000	26,164	736,273	2019/10/31
		3.955 MALAYSIAGOV 250915	10,000	9,980	280,837	2025/9/15
		4.048 MALAYSIA 210930	17,000	17,253	485,508	2021/9/30
		4.498 MALAYSIAGOV 300415	22,300	22,407	630,557	2030/4/15
小	計				2,133,177	
南アフリカ			千南アフリカランド	千南アフリカランド		
	国債証券	10.5 SOUTH AFRICA 261221	26,000	29,460	270,153	2026/12/21
		6.25 SOUTH AFRICA 360331	61,000	45,100	413,571	2036/3/31
		6.5 SOUTH AFRICA 410228	146,000	106,479	976,421	2041/2/28
		7.25 SOUTH AFRICA 200115	32,000	32,179	295,083	2020/1/15
		7.75 SOUTH AFRICA 230228	10,000	10,045	92,114	2023/2/28
小	計				2,047,344	
合	計				6,661,469	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド

《第11期》決算日2017年7月24日

[計算期間：2016年7月26日～2017年7月24日]

「グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド」は、7月24日に第11期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第11期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	<p>アッパーミドル諸国の政府等または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し安定した利子収益の獲得をめざします。当ファンドにおいて「アッパーミドル諸国」とは、先進国と新興国の中間領域に位置する国として委託会社が判断した国とします。アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。投資対象とする債券は、当該国通貨建ての国債、政府保証債、政府機関債、地方債および国際機関債とします。ポートフォリオの流動性等を補完するため米国国債に投資することとし、信託財産の10～20%程度を基本資産配分とします。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主要運用対象	外国の債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
	期騰落	中率			
	円	%	%	%	百万円
7期(2013年7月24日)	12,356	25.5	97.6	—	24,981
8期(2014年7月24日)	13,057	5.7	97.3	—	19,168
9期(2015年7月24日)	13,211	1.2	97.5	—	13,920
10期(2016年7月25日)	10,612	△19.7	97.5	—	8,680
11期(2017年7月24日)	11,878	11.9	96.1	—	7,365

(注) 当ファンドは、アッパーミドル諸国の政府等または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざすことを目標としておりますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
(期 首) 2016年7月25日	円 10,612	% —	% 97.5	% —
7月末	10,422	△ 1.8	97.5	—
8月末	10,244	△ 3.5	97.1	—
9月末	10,071	△ 5.1	96.4	—
10月末	10,450	△ 1.5	96.7	—
11月末	10,442	△ 1.6	97.4	—
12月末	10,928	3.0	95.1	—
2017年1月末	10,814	1.9	94.8	—
2月末	11,081	4.4	96.2	—
3月末	11,294	6.4	96.8	—
4月末	11,211	5.6	96.1	—
5月末	11,454	7.9	96.2	—
6月末	11,824	11.4	95.7	—
(期 末) 2017年7月24日	11,878	11.9	96.1	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ11.9%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●投資環境について

◎債券市況

- ・米国、メキシコ、マレーシアの長期金利は上昇した一方、南アフリカの長期金利は低下しました。
- ・期首から2016年12月にかけては、11月上旬に実施された米国大統領選挙の結果を受け、財政政策に対する期待が高まったことなどから、投資対象国の長期金利は上昇しました。
- ・その後、期末にかけて、米国では、物価関連指標の弱含みなどを背景に、追加利上げペースが緩やかになるとの観測が高まり、米国の長期金利は概ね低下基調で推移しましたが、期首との対比では、長期金利は上昇して終わりました。また、南アフリカ、メキシコ、マレーシアでは、2017年4月に実施されたフランス大統領選挙の結果を受け、欧州の政治的不透明感が後退したことによる投資家のリスクセンチメント改善や、先進国を中心としたインフレ期待の低下などが

長期金利の低下要因となりましたが、期首との対比では、メキシコ、マレーシアの長期金利は上昇した一方、南アフリカの長期金利は低下して終わりました。

◎為替市況

- ・米ドル、南アフリカランド、メキシコペソは対円で上昇しましたが、マレーシアリングットは対円で小幅に下落しました。
- ・米ドル、南アフリカランド、マレーシアリングットは、2016年12月にかけて、前記の米大統領選挙の結果を受けた長期金利の上昇による本邦との金利差拡大などから、対円で上昇しました。
- ・2017年1月以降、米ドルやマレーシアリングットは、トランプ政権による経済・財政政策の不透明感の高まりなどが対円で下落要因となりましたが、期首との対比では、米ドルは対円で上昇した一方、マレーシアリングットは小幅に下落して終わりました。南アフリカランドは、前記の政治的不透明感の高まりが下落要因となりましたが、期首との対比では、対円で上昇して終わりました。
- ・また、メキシコペソは、トランプ政権が掲げる保護主義的な通商政策などから、メキシコ経済に悪影響が生じるとの懸念が高まったことが下落要因となり、1月下旬までは対円で概ね横ばいで推移しました。その後は、通貨防衛のための継続的な利上げにより投資家の信認が回復したことなどを背景に、上昇基調で推移し、期首との対比では、対円で上昇して終わりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定し、通貨別資産配分は均等を基本に組み入れました。

- ・投資国は、期を通じて、米国・南アフリカ・メキシコ・マレーシアの4カ国で運用しました。
- ・債券の利子収益を享受したことや、米ドル・南アフリカランド・メキシコペソが対円で上昇したことなどから、基準価額は上昇しました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・アッパーミドル諸国においては、外部環境の悪化による一定の影響は受けつつも、中間所得層の増加や堅調な労働市場を背景とした個人消費の堅調な伸びを背景に、概ね底堅い経済成長を維持するものと考えています。
- ・米国では金融政策正常化に向けた動きが想定されるものの、日欧の中央銀行などによる緩和的な金融政策を背景に、主要先進国の金利は低位で推移しており、先進諸国との比較で相対的に金利水準の高いアッパーミドル諸国への金利差を狙った資金流入が、今後も見込めると考えます。
- ・ただし、他の新興国通貨と同様に、中国の景気減速懸念などの外部要因の影響を受け、投資家のリスク回避姿勢の強まりなどから不安定な動きに転じる可能性がある点については留意が必要です。

◎今後の運用方針

- ・アッパーミドル諸国の政府または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざします。
- ・アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。
- ・アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）を参考にします。

○1万口当たりの費用明細

(2016年7月26日～2017年7月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	3	0.024	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(3)	(0.024)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	(0)	(0.000)	
期中の平均基準価額は、10,852円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年7月26日～2017年7月24日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外	アメリカ	国債証券	千アメリカドル 836	千アメリカドル 2,950
	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 72,937	千メキシコペソ 135,899
国	マレーシア	国債証券	千マレーシアリングギット 21,553	千マレーシアリングギット 31,688
	南アフリカ	国債証券	千南アフリカランド 23,467	千南アフリカランド 129,105

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2016年7月26日～2017年7月24日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	72	—	—	2,260	776	34.3

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2017年7月24日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 5,050	千アメリカドル 5,367	千円 595,183	% 8.1	% —	% 2.3	% 2.3	% 3.6
メキシコ	千メキシコペソ 315,500	千メキシコペソ 346,305	2,178,264	29.6	—	18.3	7.6	3.6
マレーシア	千マレーシアリンギット 84,000	千マレーシアリンギット 84,609	2,190,529	29.7	—	10.6	19.2	—
南アフリカ	千南アフリカランド 294,000	千南アフリカランド 246,584	2,113,228	28.7	—	26.0	2.7	—
合 計	—	—	7,077,205	96.1	—	57.2	31.7	7.2

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利率	当期末			償還年月日
			額面金額	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
	国債証券	1.75 T-NOTE 220515	1,500	1,497	166,092	2022/5/15
		3 T-BOND 420515	500	522	57,904	2042/5/15
		3.125 T-NOTE 190515	2,300	2,373	263,142	2019/5/15
		4.5 T-BOND 360215	750	974	108,043	2036/2/15
小	計				595,183	
メキシコ			千メキシコペソ	千メキシコペソ		
	国債証券	10 MEXICAN BONOS 241205	23,000	27,326	171,883	2024/12/5
		10 MEXICAN BONOS 361120	53,000	68,516	430,970	2036/11/20
		6.5 MEXICAN BONOS 220609	25,000	24,820	156,120	2022/6/9
		7.75 MEXICAN BONO 171214	42,000	42,155	265,157	2017/12/14
		7.75 MEXICAN BONO 421113	44,000	46,566	292,903	2042/11/13
		8 MEXICAN BONOS 200611	62,500	64,630	406,522	2020/6/11
		8 MEXICAN BONOS 231207	33,000	35,184	221,309	2023/12/7
		8.5 MEXICAN BONOS 290531	33,000	37,105	233,395	2029/5/31
小	計				2,178,264	
マレーシア			千マレーシアリングギット	千マレーシアリングギット		
	国債証券	3.654 MALAYSIAGOV 191031	32,000	32,180	833,140	2019/10/31
		3.955 MALAYSIAGOV 250915	10,000	9,938	257,309	2025/9/15
		4.048 MALAYSIA 210930	22,000	22,301	577,397	2021/9/30
		4.498 MALAYSIAGOV 300415	20,000	20,188	522,682	2030/4/15
小	計				2,190,529	
南アフリカ			千南アフリカランド	千南アフリカランド		
	国債証券	10.5 SOUTH AFRICA 261221	57,000	64,242	550,562	2026/12/21
		6.25 SOUTH AFRICA 360331	61,000	43,950	376,658	2036/3/31
		6.5 SOUTH AFRICA 410228	128,000	90,496	775,550	2041/2/28
		7.25 SOUTH AFRICA 200115	23,000	22,999	197,107	2020/1/15
		7.75 SOUTH AFRICA 230228	25,000	24,894	213,349	2023/2/28
小	計				2,113,228	
合	計				7,077,205	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2017年7月24日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
公社債	千円 7,077,205	% 95.6
コール・ローン等、その他	325,674	4.4
投資信託財産総額	7,402,879	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(7,341,307千円)の投資信託財産総額(7,402,879千円)に対する比率は99.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=110.88円	1 メキシコペソ=6.29円	1 マレーシアリングギット=25.89円	1 南アフリカランド=8.57円
------------------	----------------	----------------------	------------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年7月24日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	7,465,679,256
コール・ローン等	165,442,696
公社債(評価額)	7,077,205,152
未収入金	125,961,926
未収利息	95,831,463
前払費用	1,238,019
(B) 負債	100,431,361
未払金	62,800,000
未払解約金	37,631,246
未払利息	115
(C) 純資産総額(A-B)	7,365,247,895
元本	6,200,664,893
次期繰越損益金	1,164,583,002
(D) 受益権総口数	6,200,664,893口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,878円

<注記事項>

- ①期首元本額 8,179,303,395円
 期中追加設定元本額 41,438,065円
 期中一部解約元本額 2,020,076,567円
 また、1口当たり純資産額は、期末11,878円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)
 グローバル・ボンド・ニューマーケット(毎月決算型) 6,200,664,893円

○損益の状況 (2016年7月26日～2017年7月24日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	511,746,930
受取利息	511,770,124
支払利息	△ 23,194
(B) 有価証券売買損益	319,609,587
売買益	616,947,641
売買損	△ 297,338,054
(C) 保管費用等	△ 1,848,556
(D) 当期損益金(A+B+C)	829,507,961
(E) 前期繰越損益金	500,805,143
(F) 追加信託差損益金	4,726,736
(G) 解約差損益金	△ 170,456,838
(H) 計(D+E+F+G)	1,164,583,002
次期繰越損益金(H)	1,164,583,002

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。